

平成28年度第2回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	平成28年11月13日（日） 午後1時30分～午後3時30分	
開催場所	加茂文化センター 第1・2研修室	
担当議員	班代表者	西山幸千子
	司会者	森岡 譲
	報告者	山本 和延
	記録者	長岡 一夫 ・ 柴田はすみ
	班員 (上記以外)	倉 克伊 ・ 島野 均
参加人数	12 人	
主な質疑 ・ 意見等	<p>Q：城山台公園整備費に関連して、市民から安全な公園をとの声があり、市内の公園を調べていたら、途中で市から委託されて調査している方と出会った。2，3年ごとに調査しているとのことだったが、調査の後の処理、修理などの対応について聞きたい。</p> <p>A：遊具の調査と思われる。老朽化等で危険と判断したら撤去や更新を行う。多額の費用がかかる時には議会に出されるが、年次計画で行っている。基本は安全性の確保だ。</p> <p>Q：ゴミ捨て禁止や、犬猫のふんは持ち帰るように等の看板が張られるようになって、ごみやふんが少なくなっていると思う。市内にもっと看板を立てたらどうか。</p> <p>A：地域の方から「看板の設置」の要望を聞くが、看板などの設置は（地域の理解が必要なので）地域長を通じて要望を出してほしい。</p> <p>Q：交通手段がないと病院や買い物に行けず、大変不便。何度も訴えているがコミバスの改善がされない。地域を通じて声をあげなくてはいけないのか。</p> <p>A：地域長会議で地域の要望などが協議される。たくさんの要望の中から行政が調査して、予算もあるので優先順位を決めて実施する。議員も地域の要望を取り上げるが、仕組みとして地域長に伝えることも大切。地域長に声が届いてないこともあるので何度も要望すべき。</p> <p>Q：新給食センターの土地が今回予算計上され、木津と山城の給食センターが廃止になると聞く。7千食を作るとのことだが、今までのようにメニューに手がかけられないのではないか。梅美台の土地は山城まで運ぶには距離もあり、問題。山城給食センターが廃止になることを保護者は知っているのか。どうしてこういう場所になったのか。</p>	

A：城山台を中心に児童数が増えている。木津センターの老朽化、山城センターも厨房機器等が老朽化している。場所選定にあたって、インフラが整っているかどうか等、数年に渡って検討する中で決定された。1番遠い学校でも20分から30分ぐらいで提供できる。

のり面が多く使用するのは半分だが、価格はそんなに高くない。今購入しておかないとピーク時に給食が提供できなくなる。自校式はよいが単価的に高くなる。アレルギー対応も木津、山城ができない。

○補足だが、給食費は、材料費だけ徴収しあとは自治体が負担。アレルギー対応も全然していないということではなく、除去・代替えなどで一部対応している。市としては加茂センターと同じレベルのアレルギー対応をしたいとの思いがある。

Q：新給食センターの用地はのり面も多く、利用できない部分があるのになぜ購入したのか。賛成した議員の意見を聞きたい。

A：教育委員会として、平成30年に9千食を超え、32年には9千5百食を超えると推測される中で、加茂センター（2千5百食対応）を除く7千食を提供できる用地になると、7千㎡が必要と判断し検討していた。今回購入予定の用地は、「準工業地域」であり施設が建てられる。また平地部分が7千㎡で、のり面と合わせて1万4千㎡で適切。価格は隣の住居地域が路線価格で平米あたり約4万円以上であるのに対して、平米あたり1万1千円。利用できる面積から2万2千円と考えても安価であると考えます。

Q：アレルギー対応ができるとのことだがどの程度までか。議員はどれくらい知った上で、（土地購入に）賛成しているのか。

A：基本的に学校給食は除去食による対応。栄養士や担任の先生と相談し、市が責任をもって対応する。命にかかわることなので慎重にしないといけない。子ども一人一人の症状ごとに把握し対応している。行政は必要最低限のことはしないといけませんが、限度がある。

今は加茂センターでもアレルギーも増えているので細かい対応が必要。

先生と栄養士さんと話し合いながら対応している。献立によっては親がお弁当を持たせる。

いずれにしても親の関わりは必要と考える。

Q：加茂センターは、別室で作るなどアレルギー対応をきちんとしている。7千食になって増えたらアレルギー対応がしにくくなるのではないか。

山城センターは1千食程度の提供で地元産の野菜も使っていておいしいし、部分的にアレルギー対応ができていたので残すべきだ。運搬も交通渋滞等しっかり考えるべきで、なぜ廃止するのか。

A：山城センターで説明を受けた。法改正により搬入口を2つにしなければいけないなど現状では、厳しい。厨房機器も古く今後の対応が難しくなる。加茂センターと同じアレルギー対応ができず、無理だと判断した。

Q：城山台の土地購入だが、一般質問のページでは「URが開発を見送った土地」と出ていた。なぜ、購入するのか。

A：URは土地売却して、平成30年に完全撤退する。この用地は現在山林だが、住宅などに開発されれば駅東地域から小川水系へと流れ、平成25年に床上浸水した木津西地域まで影響が及ぶため、駅東の水処理が決まるまで現在のままであることが望ましい。また、将来においては利用価値が上がる優良宅地となるものと考え、ベストとは言えないがベターと考える。

Q：政策提言について、基金活用の市民公募型協働事業というのは、どういったものを想定されているのか。

A：地域活性化の事業があるが、国からの補助金は使い勝手が悪い。平成27年度決算で、市の基金利子は1006万円ぐらいなので、1件の上限が300万円ぐらいの事業を提案していただければと思っている。全額補助金ではなく、1割程度自己負担。成功している自治体もあるので、市民の方が使い勝手のよい制度になればと提案した。

Q：付帯意見「今後の市の給食センターのあり方については、十分検討し進められたい」とあるが、付帯意見をつけた理由は。意味があるのか。

A：木津と山城を廃止し統合することも含め、廃止は困ると言うことや金額面でも高いとの意見もあり、十分検討が必要であると付帯意見を付けた。

行政側には何の拘束力もない。ただし、一般質問の中で議員から市長に問うた時に「意見は尊重し、考慮に入れて政策を進める」と答弁があった。

Q：議会だよりについて、難しい行政用語や理解できない言葉が多い。中学校卒業レベルぐらいにするべきで、もっと市民にも分かりやすくしてほしい。

A：極力分かりやすい文言でと思っているが、行政用語とのギャップがあるのでいつも悩んでいるところだ。できるだけ分かりやすいようにこれからも努力する。

Q：梅美台保育園が民設民営になったら、何か変わるのか。

A：もともと公設民営で行われている。市の直営がいいのか民間がいいのか議論もあると思うが、完全民営化によって、サービスが増えていくのではと思い賛成した。

さまざまな要望が出ているが、願いとして通学に時間がかかるのもっとJR奈良線の本数を増やしてほしい。上狛駅のトイレは男女一緒だし、汚い。また、加茂駅の駅員を二人体制にもどしてほしい。障害者にとってもっとバリアフリー化を推進するなどJRや国に粘り強く市民の声を届けて、要望してほしい。

保育園や幼稚園は広さ、職員数、内容を充実していく責任がある。単にお金を理由に切り捨てている。簡単に官から民にするのはどうかと思う。働く人数、サービスをするのに公として責任を持って行ってきた。子どもや親のために丁寧に見ていく必要があると思う。

質問・要望等で行政側へ報告すべき内容	・ 5年前にも発言したが、市の作っている封筒が「左前」になっているものがある。市長が「これから気をつける」と言っていたが、改善してほしい。
その他特記事項	

上記のとおり、報告します。

平成28年11月28日

木津川市議会議長 倉 克伊 様

平成28年度第2回議会報告会

第2班 代表者

西山 幸千子

Ⓜ